

橋梁補修事業により、 災害時における緊急輸送道路の交通機能を確保する

【対策】84 道路施設の老朽化対策

対策概要：急速に進展する道路施設の老朽化に対し、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現する予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の対策を集中的に実施する。

府省庁名：国土交通省

【事例】^{さんぼんすぎはし}三本杉橋補修事業

■ 実施主体：香川県

■ 実施場所：香川県^{なかたどぐん}仲多度郡まんのう町

■ 事業概要：第1次緊急輸送道路に指定されている国道438号の橋梁の老朽化対策として、三本杉橋の橋梁補修工（断面修復工、ひび割れ注入工等）を実施した。

■ 事業費：1.5億円
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）0.8億円）

■ 効果：国道438号三本杉橋は、香川県と徳島県を結ぶ第1次緊急輸送道路上にある橋梁であり、老朽化が進んでおり、早期に措置を講ずべき状態となっている。

緊急輸送道路にある橋梁の老朽化対策を推進することで、南海トラフ地震などの大規模な災害が発生した場合の救命活動や物資輸送を円滑かつ確実に実施することが期待できる。

